

平成27年度第3回 市長と話そう、まち育てタウンミーティング (全体版)

- 1 日時 平成27年9月4日(金)午後3時～4時(60分)
- 2 場所 北上コンピュータ・アカデミー 多目的ホール
- 3 参加者 北上コンピュータ・アカデミーの学生のみなさん
石川 勇紀さん ビジネスコース2年
阿部 彩香さん ビジネスコース2年
佐々木 樹さん CG・CADコース2年
千葉 翔斗さん システムコース2年
(アドバイザー)伊藤教務部長
- 4 市出席者 市長、今野商工部長、八重樫工業振興課長
(事務局)及川広聴広報課長、同課 高橋課長補佐、石田主任
- 5 懇談テーマ 「北上で学ぶ理由・働く理由」
「どうしたら地元岩手で働きたくなる」

6 懇談内容

市長あいさつ

市長：本日は今年度3回目のタウンミーティングとなりますが、この企画は皆さんから頂いた意見について、回答できるものはすぐ回答しますし、政策に反映できるものは実行していきたいという趣旨で広い立場、年齢層の方々から意見を伺う会です。

今回のテーマは全国の地方都市が悩んでいる人口減少と高齢化の中における若者についてです。若い人たちに地元に残ってもらう、または一度都会に就職してから地元に戻って地域に役立つ活動をしてもらいたいということですが、固く構えずきたんのない意見をお願いします。

懇談テーマ①「北上で学ぶ理由・働く理由」

「私は〇〇なので北上コンピュータ・アカデミーで学び、卒業したら〇〇したい。〇〇だから私は〇〇市町村で働きたい。」というお題で参加者から自己紹介を交えてお話ししていただきました。

石川さん：私は北上市出身で、簿記やPCの資格を多く取りたかったので、北上コンピュータ・アカデミーで学び、卒業したら、できれば北上市役所または市内で学んだことを生かしたいです。地域の活性化に貢献したいので私は北上市で働きたいです。

市長：北上市役所ですか。しっかり試験を頑張ってください。

阿部さん：私は花巻市出身です。将来事務職に就きたいので北上コンピュータ・アカデミーで学び、卒業したら今までに取得した資格を生かせる仕事に就きたいです。自然が豊かで落ち着くから県内で働きたいです。

市長：事務職というとどんな仕事をしたいのですか。

阿部さん：接客にも興味があるので受付の仕事がいいです。

千葉さん：私は昔からゲームが好きで、システムの知識を身に付けたく、北上コンピュータ・アカデミーで学んでいます。すでに内定をいただいているので、卒業したなら少しでも使える人材になれるように努力したいです。配属先はまだ決まっていますが、一度都会へ出てみたいと思っていたので、関東・近畿の方の配属を希望しています。

佐々木さん：私は山田町出身です。以前から情報技術に興味があり、北上コンピュータ・アカデミーで学んでいます。アカデミーで学ぶ中で発表して人にもものを伝えることに楽しさを覚えました。卒業後は沢山の人に情報を発信する宣伝を行う仕事をしたいです。

市長：親御さんは県内で就職してほしいのでは。

佐々木さん：近くにいてほしいと言われますが、自分のやりたい仕事は盛岡が多い印象があります。

市長：北上コンピュータ・アカデミーに入学して1年半過ぎましたが、どんな所が自分の就職にとって良かったのかあるいは足りない所はあったのか、感想を教えてください。

石川さん：高校までには学ぶことがなかったパソコンや財務会計の知識を学べたことが良かったです。また、学校生活においてもコミュニケーションスキルを学べました。

市長：なるほど。では、逆にこうしてほしいことはありませんか。

石川さん：正直、もうちょっと生徒が自分で考えて行動できるようにしてほしいですね。例えば学園祭や体育祭の企画とか。

市長：なるほど。大切なことですね。

阿部さん：私も高校ではパソコンに触れる機会がなかったのですが、電卓を打つスピードが上がり、ブラインドタッチなどビジネススキルを身に付けることができました。今後の仕事に役立てると思います。

市長：いいことですね。

千葉さん：私は入学当初プログラマーを目指していたのですが、最初の授業で自分には向いていないことが分かり、ゲームクリエイターの道はあきらめました。そこからすぐにネットワークの勉強を始めたのですが、すぐに進路を切り替えたのが、早期に内定をいただけた要因ではないかと思います。

また、学校に望むものとしては、アカデミーではマックブックプロなどの最新のデバイスを貸出ししてくれるのがとても嬉しいです。あまり知られていないのが残念ですね。

伊藤教務部長：補足しますと、あくまで卒業研究などの用途に対し貸出しするもので、個人的な使用には貸出ししていません。

佐々木さん：私はCG・CADコースですが、普段からゲームやアニメ、映画を多く観ますが、入学して初めてCGに触れる機会を得たことが嬉しいです。

CG・CADコースは名前のおりCGとCADの両方を勉強しますが、

私個人としてはCGに専念して勉強できる環境が欲しいです。

市長：なるほど、これで一通り聞きましたね。さて、なぜこんなことを聞いたかという、現在コンピュータ・アカデミーは職業訓練法人という立場にあります。しかし、全県から学生が集まってきますし、卒業式の発表を聞いても皆さん多くの資格を取得しています。ですので、これは卒業生の方も同じ思いでしょうが、私としては学校の県立化なども念頭に、学校のあり方を検討したいと思っています。どんな方法があるのか、相当高い壁があるかと思いますが、期待しててください。

私は卒業しても絶対に岩手に残ってほしいというわけではありません。就職した先で活躍しながら、次第に生まれた地域に貢献していくということも良いでしょうし、家庭の事情で近くに残るのであれば、岩手の中で色々な経験を通して地域に貢献できる人材になってほしいです。

懇談テーマ②「どうしたら地元岩手で働きたくなる」

市長：当初は「どうしたら北上市で働きたくなる」というテーマでしたが、北上市に限らず、岩手県内というエリアでお話していただきたいと思います。

石川さん：育児休暇やハラスメントの根絶などの社内環境の充実を各企業で行ってほしいです。また、行政に対しては待機児童や福祉施設への待機入居者の解消、高齢者向けのバスの拡充や自転車専用道路の整備といった交通政策と緑の多い街になると嬉しいです。それと、ビームスやスターバックスなど若者向けの店舗がもっと欲しいです。

市長：保育施設の充実についてはこれから進めようと計画しているところです。一時預かりサービスが不足していますので、これから充実させていかなければなりません。公共交通については、地方は、車中心の生活が一般的で路線バスが減っている状況であることはご存じだと思います。これは良い状況とは言えませんから、バスを維持するかは置いておいて、公共交通で地域の拠点を結ぶことが大切になってきます。また、自転車専用道路についてはすでに盛岡市など先行事例はありますので北上市でも徐々に進めていきます。歩道を自転車が走行するのは日本だけで大変危険だと海外からも指摘されているようです。北上市は他市に比べて緑や公園は多いです。ただし、道路から見える緑は多くないので、街路を歩いて目に見える緑を増やすべく取組みを変更して進めています。目に見える効果となるまでには10年はかかるでしょうが。それから、若者向けの店舗は若者人口が少ないと成り立ちません。北上市単独では足りないので、花巻市から奥州市の商圏として捉え、花巻にはこの施設、北上にはこの施設といった感じで考える必要があるでしょう。盛岡市くらいの30万人都市であれば、その1%である3千人が利用することで商売が成り立つということのようです。

阿部さん：仕事に望むものとしては先ほども出ましたが、産休や育休が充実していると嬉しいです。交通機関が充実してほしいですし、スターバックスも欲しい

です。それから、最近同い年の友人が子どもを産んでいるのですが、親子で遊べる施設が無いという話を聞きます。

市長：産休と育休については最低限必要なことでしょう。公共交通もそのとおりですね。車に頼らない仕組みを作っていかなければなりませんね。行政がしっかりとやっていかなければならないでしょう。スターバックス、アマゾン、マイクロソフトはいずれもシアトル発祥の企業です。シアトルは人口60万人とアメリカでは大都市というわけではありませんが、世界を制覇する大企業を生んでいます。北上市としても目指すのはシアトルのような都市なんだろうと思います。その象徴としてのスターバックスがあるわけですし、私も欲しいです。親子が遊べる場所については以前のタウンミーティングでもお母さん達から出されました。どの自治体でも欲しがっていますし、公園に限定せず、屋内で遊べる場所が必要だと考えます。

千葉さん：北上コンピュータ・アカデミー設立の目的は地方のIT技術の向上だと考えますが、にもかかわらずその受け皿であるIT関係企業が少ないので、地元就職できず、学生が首都圏に流れます。企業が増えれば技術者も増えますし、技術者は若い年齢層が多いので商業も活気づき、商業施設も増えるのではないのでしょうか。

市長：そのとおりですね。せっかくの勉強を生かせる企業が少ないと感じるのもっともでしょうね。皆さんの先輩である北上コンピュータ・アカデミーの卒業生の方で東京や関西で起業している方もいますから、そういった方々で北上で会社を立ち上げてほしいと思います。機会を捉えてお話しできればと思います。一朝一夕にはいかないかもしれませんが必要だと思います。

佐々木さん：卒業したら広告業に就きたいと思っていますが、北上には求人が少ないので盛岡や東京に行かざるを得ません。首都圏や県庁所在地である盛岡市にはその業界の中心となるものがあるので、広告業も多いです。北上にもその業界の中心となるものがあれば活性化につながるのだと思います。もう一つはアミューズメント施設や音楽イベントなど若者が残りたくなる場所が増えればよいのではないのでしょうか。

市長：確かに広告代理店は少ないですね。これについても30万都市という広域エリアで考える必要があるでしょうから、花巻市や奥州市などと連携する環境づくりを進めることが我々の仕事なのかなと思います。といっても30万人ですから過大な期待をされても困りますが。アミューズメントについても同じことが言えますね。皆さんも地元とのネットワークを絶やさず地域を盛り上げるとともに後輩へのサポートもお願いします。

自由懇談

佐々木さん：北上ケーブルテレビは市と密接につながっているのですか。

市長：市の情報発信だけでなく市議会の中継をお願いしています。まだ一部視聴できない地域もありますので、いずれは市内全域で視聴できるように考えて

います。しかし、そうはいつでもケーブルテレビを視聴するためには契約が必要ですから、全世帯に発信することはできません。

そこでもう一つの方法としてラジオ放送、コミュニティFMなども研究しています。北上コンピュータ・アカデミーのイベントの実況中継など気軽に地域の情報を発信するなど活用は広がります。インターネットによる発信は高齢者には伝わりませんから気軽に聴けるラジオかテレビという方法が良いのでしょうか。これもそう時間を掛けずに整備しなくてははいけません。

千葉さん：市内に無料のWi-Fiスポットは作らないのですか。

市長：すでに数か所あります。また、県でもホテルなど人が集まる場所に対しての整備に補助金を出していますし、これから徐々に広がっていきます。

アドバイザーから

今野商工部長：北上コンピュータ・アカデミーは市の重要な施設としてぜひ継続していかなければなりません。やはり産業を支える場所は残さなければなりませんし広げていかなければなりません。就職先についても出口戦略として非常に重要になってきます。先ほどのIT企業や事務職としてすぐ就職が見つかるということについても学校と一緒に取組んでいきたいと考えます。

ものづくり産業の集積というと、どうしても製造のラインのイメージが浮かびますが、これからは研究開発の本社企業の誘致を目指しています。そうすると皆さんがこれまで学んだことが大いに活かされますので後輩にもつなげていってもらいたいと思います。皆さんは今まさに就職活動の真っ最中でしょうが、それぞれの希望が叶いますよう応援しております。

伊藤教務部長：ここで学んだことを生かし、地元に貢献するためにも、その場として企業は必要です。ここで学んだことはITの分野に限らず役立てることができると思いますので北上が大きくなるよう貢献してもらいたいです。

市長：みなさんにとって良い就職先が見つかるようお祈りしております。ぜひ頑張ってください。